

熱海に集う邦楽指導者たち



田村拓男
NPO 法人邦楽
指導者ネットワ
ーク 21 代表

何はともあれ今年も合奏講習会が盛況のうちに終えることが出来ました。ご報告をさせて頂きたいと思います。6月20日～21日、熊本・福岡・愛媛・山口・新潟・福島など全国各地から箏・尺八・三味線の指導者ら130名を超す方々が「ハートピア熱海」に集まりました。

初日は参加者コンサートがおこなわれ、2日目は130名による大合奏「夏の一日」(長澤勝俊作曲)が展開されました。大合奏の迫力は合奏講習会ならではのものであり、喜びを分かち合うことが出来ました。現代邦楽ブームと呼ばれて30余年。新しい日本の邦楽合奏が着実に進歩してきている実感を味わえたのではないかと思います。

特別ゲストとして尺八の難波竹山氏を招き、身近に聴き、共演できる機会が得られたことは大変有意義なことでした。大きな財産になったことと思われま。

講習会での出会いや交流は未来につながり夢が広がります。来年は場所を潮来に移して行われます。「水郷潮来のあやめ祭り」にもあやかっけて日本の楽器たちが水面に映えることでしょうか。来年の特別ゲストには宮田耕八朗氏を迎えることになっており、現代邦楽の元祖ともいえる氏との出会いに期待が寄せられています。

芸術文化振興、邦楽の発展に寄与 素晴らしい成果をあげる各支部の活躍

加古川支部 鈴木晴椰氏

平成 26 年度芸術文化団体「半どんの会」
文化賞（芸術文化功労賞）邦楽部門受賞



今回文化賞邦楽部門において当会加古川支部の鈴木晴椰氏が受賞した。鈴木氏は今年5月5日に県指定文化財のかやぶき民家で箏のコンサートと幼稚園児の踊りによるイベントを行い地元紙にも掲載されるなどの盛況ぶりを伝えた。

これらの活動は「箏曲椰の会」主催であり当会加古川支部として大きな成果を上げた。

■ 芸術文化団体「半どんの会」は今年で63年目を迎える芸術文化団体である。分野は文学 絵画書道など多々で機関誌の発行や県下等の優れた芸術家、文化功労者の顕彰、芸術文化振興に寄与する事業を展開している。

熊本箏演奏者協会

第 25 回熊本県民文化賞地域活動部門受賞

第25回熊本県民文化賞において熊本演奏者協会(当会熊本支部代表の古川郁代氏が代表を務める)が地域文化活動部門として受賞した。この賞は地域の文化推進に貢献する活動を行ったものに対しその功績をたたえとともに今後の活動を奨励する目的で、県内で活動している団体を原則とし表彰している。熊本箏演奏者協会は構成員約200名の県内最大規模の箏演奏団体であり数々の演奏会やリサイタル等を実施してきた。

また邦楽の次世代への継承や更なる発展を目的とした「全国邦楽ジュニアコンクール&コンサート」を隔年で開催している。当会熊本支部の代表である古川氏は当会設立から現在に至るまで多大なご尽力とご努力で邦楽の発展普及に寄与している。

今回の受賞は会員にとっても励みと希望を与えるものであり当会の誇りである。



今回の合宿では、東日本大震災の義援金 28,916円を募ることができました。

福島県須賀川支部を通して、石巻市の介護施設へお贈りする予定です。

ご協力ありがとうございました。

第11回合奏講習会in熱海

平成27年6月20(土)～6月21日(日)於ハートピア熱海

ゲスト難波竹山氏による尺八の直接指導・共演、田村拓男氏による講習曲長澤勝俊作曲「夏の一」の指揮指導、「楽しい指揮教室」、福嶋頼秀氏による長澤勝俊作曲「樹冠」の特別指導、新企画・難波竹山氏、石森康雄氏による「トーク・情報コーナー」、参加者コンサート等盛りだくさんの内容で総勢130余名全員が充実した時間を過ごした一泊二日でした。



特別ゲスト 難波竹山氏を迎えて

代表理事 田村拓男

毎回のよう特別ゲストをお招きしての共演やお話を聞ける講習会が持てるのは大変幸せなことだと思います。おそらく皆さんは「難波竹山氏は雲の上の存在」と思っていることでしょう。その人が身近に現れ、親しく共演して下さるのですから、こんなに有り難いことはありません。

皆さんの力量が知らず知らずのうちにレベルアップされていることを実感されていますでしょうか。

そうなのです。「百聞は一見にしかず」「論より証拠」等など...。「あの人は素晴らしい」と、何百回聞かされるより、一度の本物との触れ合いによって全てを体得できるということがNPO法人の合奏講習会で実現しているのです。



若い人を育てる行動力と説得力

尺八演奏家 難波 竹山

まず、最初に驚いた事は自由時間の少なさでした。言い換えれば、それだけ「合宿」という名にふさわしい自身の濃いスケジュールでした。指導には日本指折りの指揮者、作曲家による丁寧かつ普段の邦楽の世界では味わえない指導を受けると言うものでした。さらに何とコンサート付きでした。

そして、その大勢の参加者は「ネットワーク21」の理念そのもので流派の垣根無く、最近の他の団体には見られないほど若い人達も多くベテランと刺激を与え合っていました。そして、何よりも皆楽しそうでした。掛声だけで歯車の合っていない世の中、「ネットワーク21」は若い人達を育てる行動力と説得力のある唯一の団体だと感じています。ここに参加出来た事は残りあまり長くは無いであろう我が人生に取って置きの思い出になりました。



合奏講習会ならではの音楽体験

作曲家 福嶋 頼秀

約130名もの参加者による合奏講習会、みなさま大変お疲れさまでした！講習にコンサート、そして会員同士の交流と、盛りだくさんで充実した内容だったと思います。

コンサートではそれぞれの参加者が、とても生き生きとした演奏で、練習の成果を披露していたのが印象的でした。また『夏の一』の講習の仕上げの合奏で、田村拓男先生の指揮で、あの大迫力の演奏を体験できた事もまた、この講習会ならではの収穫になったのではないのでしょうか。

私は『樹冠』の指導・指揮も担当。難波竹山先生の表情豊かな尺八に反応し、各地から集まった箏奏者の音がどんどん変化し、一つの音楽になってゆきました。こういった一期一会の音楽創りも、講習会の醍醐味ですね。



楽しく、たくさんさんの刺激
久しぶりに参加させていただきました。ステキな熱海の景色を眺めながら、小学生や高校生、いろんな方の演奏を聞いたり、私自身もいろんな方と演奏でき、また、講習会や田村先生による楽しいリズム教室など、楽しく、たくさん刺激を受けることができました。機会があれば、また参加できるいいなと思っています。

中野しのぶ 熊本県



有馬美梨 東京都

箏の楽しさを再確認
今回第十一回合奏講習会に参加して様々なことを学ぶことができました。コンサートでは邦楽をやっている方々に演奏するというとても緊張感のある演奏となりました。また、他の方々の演奏を聞き、自分や部内に足りないもの、もっと向上できるものなどを感じて吸収できたと思います。この合宿を通して、箏の楽しさを再確認もつと上手になろうと思えました。二日間ありがとうございました。



牧原一路 愛知県

今後の活動に自信と希望
このような合宿参加は四十年ぶり。いや驚いた。まずは小中学生と高校生の演奏。全員暗譜。変拍子もなんのその、左手も使う。一糸乱れぬ演奏に唖然。子供たちの能力をここまで引き出す講師の指導力に驚嘆。そして各会員の報告。学校や地域で邦楽の普及、指導にすばらしい実績を挙げておられる。邦楽不振の声などどこ吹く風の強烈な刺激を得、今後の私の活動に自信と希望を得ました。

参加者の声

第12回合奏講習会のお知らせ

学んで一演奏して一聴いて一遊んで一
平成28年5月28日(土)～5月29日(日)
於潮来ホテル(茨城県潮来市)
ゲスト 尺八 宮田耕八朗氏

皆様のご参加をお待ちしています！



一支部の風 from 加茂支部

今年の2月1日には～加茂邦楽こども教室10周年記念～<新春コンサート>が開催されました。年々お客様が増え、加茂市民に定着していることを実感されているそうです。

今年は、10周年を記念し、1部で「加茂邦楽こども教室」と加茂支部 箏曲「理音会」の演奏。

2部を 篠笛：狩野泰一氏と和太鼓：金子竜太郎氏の記念公演という豪華なラインナップで、発行した整理券はあつという間になくなり、加茂文化会館小ホールは250人ほどの聴衆で一杯になりました。

新潟県加茂支部は高橋理香先生ご指導のもと、小中学生から70代まで約18名と加茂邦楽こども教室(小中学生)10名で活動されています。

また、5月9日には社中のみなさんとこども教室のお子さんたちとで～北方文化博物館藤のライトアップに合わせ 藤のつどい～で演奏されました。ライトアップされた大藤を観るため館内は、大勢のお客様で、準備した200部のプログラムは、アツという間に無くなりました。伝統ある館での演奏はお子さん達にとって印象的な思い出になったようです。高橋先生は今後も加茂市に邦楽が根付いていくことを願って活動を継続してゆきたいと語っていました。こどもたちも大活躍の加茂支部の今後の活動が楽しみです！

衣装紹介

合宿の参加者コンサートでは、みなさん曲のイメージに合った素敵な衣装で演奏されていましたね。合宿に参加できなかった皆様にも是非ご覧いただきたい！というわけで、埼玉支部を中心としたメンバーによる「火群野」の衣装をご紹介します。



この衣装は地元の火祭りをイメージして作られました。衣装と演奏曲がピッタリでオレンジ色と黒のコントラストがとても印象的でした。この衣装はレンタルもしているそうですよ。素敵な衣装で演奏すると、演奏する側も聴く側もますます曲の世界に引き込まれますね。

これ



知ってる？

『一絃の琴』

宮尾登美子 著

皆さんは絃がたった一本の琴、一絃琴をご存じでしょうか？今回ご紹介するのは、宮尾登美子の小説「一絃の琴」です。

直木賞受賞作で、舞台化、ドラマ化されている作品なので、ご存じの方も多いかと思います。後に人間国宝となる実在の一絃琴奏者をモデルとし、土佐を舞台に明治、大正、昭和という時代に一絃琴と共に生きた女性たちの人生が熱く描かれた作品です。高知出身の作者自身、初めて一絃琴を聞き感動して、この作品を書いたそうです。

小説としての素晴らしさはもちろん、十三絃、十七絃の箏をよくご存じな方にとっても、それらとはまた違った魅力を持つ一絃琴の世界に魅せられること間違いなしのオススメ作品です。

=ザッツ・虎の巻=

今回は三味線のスクイのポイントを日本音楽集団常任理事の三味線奏者穂積大志先生におうかがいしました。



津山撥で

細かいスクイをするには

地歌を演奏する際に用いる津山撥は、開きが大きく、薄く先付けされているため、撥の先が良くしなります。このため、撥を寝かせ気味にし、胴の皮面に対して水平に撥先を擦り押し付けるように用い、撥先をしならせて、「パチーン」と発音させます。

一方、長唄や端唄、民謡および山田流の唄物では、平撥を用います。津山撥と比べるとサイズ・重量ともに小型で、開きも小さく撥先はほとんどしなりません。このため、手首のスナップを使って、親指の支えによって撥先で弦を沈み込ませて発音させます。

私の場合、三味線の手ほどきは地歌で津山撥から始め、後に長唄で平撥を使うようになりました。当初、平撥でしっかりした音を出せずに苦労しました。また最近では、つつい平撥の弾き方で、津山撥を扱ってしまい、撥先を欠いてしまうこともあります。

撥先が薄く、しなりが大きい津山撥は、早い連続したスクイ(チリチリ)にはあまり向きません。現代曲など、地歌では用いない早く細かいスクイを演奏する場合、擦り付ける動作を避け、手首の回転を細かく使い、撥先をしならせないように用いるとよいでしょう。

三味線の細かいスクイはきれいに音を出すのが大変難しいですが、教えていただいたポイントを確認しながら練習あるのみですね！

羽田野歌子の

思い出。ポケットから

邦楽番組を作る

デジタル時代になって一番困ったのは、邦楽器の音が薄べらで、金属的に録音されてしまうことです。邦楽器の繊細でまるやかな音色はアナログでなければなかなか表現できません。箏もそうですが、一番難しい楽器は三味線です。NHKでは、音声技術と様々な研究を繰り返し、アメリカのメーカーに、デジタル用リボンマイクを特注して邦楽専用を使用しています。それでもマイクの微妙な位置によって、音色が変わるので古典芸能の録音では担当ディレクターと技術との役割が重要になるのです。

私はFM放送の邦楽百番を担当していましたが、音声技術にはいつも演奏者のそばで生の音を自分の耳で聞いてごらん、と繰り返し話しておりました。邦楽百番では、邦楽の人間国宝クラスの方の演奏を、NHKの一番広いスタジオで録音します。名人の中でも音質が一番厳しかったのは地唄の人間国宝・文化功労者の初代富山清琴さんでした。毎回スタジオにお入りになると、「今日はどんなマイクで録音しますか？」と必ず尋ねられました。音声技術担当者も、富山さんが録音に来られるという予定を知ると、前日から緊張して準備をしていたのです。感心させられたのは、こちらがお願いした時間に納まるように地唄の歌詞をきちんとカットしてくださるところでした。地唄の長い詞章を全部そらんじておられるのですから私はいつも、清琴さんの頭の中にはすごいコンピューターが入っているみたいだと舌を巻いておりました。幼くして病気のため失明された、清琴さんでしたが、いつも明るく偉ぶらずに接してくださいました。

名コンビとして知られた地唄舞の名手・武原はんさんの美しい舞姿とともに、清琴さんの美しい声と三絃の音色が、私の幸せな思い出としてはつきりと残っています。

西角井正大の

ひとこと ふたこと

「記紀」の中の琴／

天皇の弾琴とエロス(その二)

前の会報で、古事記や日本書紀には天皇と琴にまつわる話が結構あるので、まず第十九代允恭天皇のことを書きました。なかなか色っぽい話で、その允恭天皇の五男が艶聞にこと欠かない二十一代雄略天皇です。これは古事記の方に出てくる話ですが、吉野に行幸したとき吉野川できれいな嬢子(おとめ)に出会って早速に婚(まぐあい)に及び、再度吉野の行幸した時には、その嬢子のごころに長居して、自ら琴を弾きその嬢子に舞いを舞わせて「呉床座の 神の御手もち 弾く琴に舞する女 常世にもがも」<胡坐(あぐら)座りできる大きな床几に胡坐を搔いて天皇自ら弾く琴で舞う乙女よ、いつまでも年を取らずにそのままいて欲しいものだ>と詠まれたとあります。が、その後お二人の間柄がどうなったかは書かれていません。天皇は琴を持ち歩いていたのでしようか。それともその嬢子の家にあつたのでしょうか。今の皇太子様もビオラだけでなく箏の琴もお弾きくださればよいのに…



会員ご紹介

- | | | |
|------------|--------------|-------|
| 熊本支部 | 熊本お琴教室 | 古川 郁代 |
| 北九州支部 | 知啓会 東島啓子 | |
| 伯江支部 | 箏曲正音会 渡辺正子 | |
| 下関支部 | 箏友会 松崎妙子 | |
| 調布支部 | 平成尺八塾 門傳良男 | |
| 加茂支部 | 理音会 高橋理香 | |
| 富士宮支部 | 箏曲妙の会 佐野妙子 | |
| 千種支部 | 箏曲明由の会 山本明由子 | |
| 浦添支部 | 峰の会 下地華峰 | |
| 那覇支部 | 咲峰の会 伊良波 咲峰 | |
| 新発田支部 | 箏曲翔の会 坂田翔祐 | |
| 仙川支部 | 箏曲あさの会 望月亜紗子 | |
| 鶴岡支部 | 彩音会 菅原綾子 | |
| 彩楓會 | 佐藤友相 | |
| 桑都の会 | 小林千恵子 | |
| 箏糸会 | 今村慶子 | |
| 日本文化体験の会 | 戸塚順子 | |
| 邦友会 箏音楽教室 | 石森康雄 | |
| いちえの会 | 沖田寛江 | |
| 箏曲柳の会 | 鈴木晴柳 | |
| 箏音楽合奏団 | 石森康雄 | |
| 桐音会 | 後藤札子 | |
| アンサンブル | 渡里夢 渡 雪美 | |
| みなの会 | 原田眞樹子 | |
| 夏音会 | 小笠原夏美 | |
| 音輪の会 | 駒井孝子 | |
| 夢の会 | 田代せつ子 | |
| 鶴鳳会 | 向井正次郎 | |
| 箏曲恭音会 | 坂本恭子 | |
| (学)小牧幼稚園 | 小林牧江 | |
| 宮城野楽器店 | 白澤功 | |
| (株)サトウ楽器 | 佐藤松夫 | |
| 山形屋三絃店 | 日原仁 | |
| 明鏡和楽器 | 渡辺譲 | |
| スミ井邦楽器店 | 墨井富士男 | |
| 千代田第一工業(株) | 会長鈴木達雄(有) | |
| 琴光堂和楽器店 | 代表 中島昌之 | |

邦楽ネットのブログ&Facebook を開設しました!

ブログ : <http://ameblo.jp/hougakunet/>
Facebook : <https://www.facebook.com/hougakunet.pr>

各地での演奏会参加情報や活動の様子などお送りください! ブログ・Facebookにてお知らせさせていただきます!

♪ 編集後記 ♪ ★合宿会場に着くと「お久しぶり」の声で振り返るニコニコ顔の方。互いの近況を語り合って・・・、このような光景はあちらこちらで見受けられホッとした気持ちになりました。(あ) ★予報では今年の梅雨は長くなるそうですね。たよりが皆様のお手元に届く頃には梅雨明けしていますように・・・! (い) ★初めての「たより」編集、パソコンとにらめっこしながら四苦八苦しましたが、合宿を振り返ることができて楽しい時間でもありました。(や)